

越教組ニュース

越谷市教職員組合情宣部
kosikyouso.sakura.ne.jp
15. 9. 16 (水)
Tel 988-3281
Fax 988-3283

安保法案は白紙撤回しかない

高まる平和への声

マスコミ各社は、政府・自民党が安保関連法案について、今月半ばの参議院での成立を目指すことに一致したと報じました。

しかし世論を見れば、とてもそんなことはできない状況にあることは明らかです。今、多くの国民が、この法案の危険性を察知し、立ち上がっています。

八月三十日には雨天にもかかわらず、一〇万人以上の人々が国会周辺に詰めかけ、関連法案の廃案を求めました。越教組の仲間も、八月三〇日OB OGを含め三十名近くが国会に馳せ参じました。

国会周辺だけでなく、この日は全国的に集会やデモが行われ、その数は千以上とも報道されています。

その後も国会前をはじめ各地で抗議活動は連日続けられ、戦争法案反対の声は、燎原の火のごとく日本中の津々浦々に急速に広がっています。

かつてない盛り上がりを示すのが、今まで集会にあまり縁のなかった人々の参加です。高校生や大学生をはじめ、落語家や芸人、大学の教員、キリスト教徒、仏教徒、看護師、ママさ

ん、学者などなど、あらゆる階層の人たちが立ち上がり、平和や民主主義への思いを言葉にしています。

これだけの国民が直接声を上げるのは安保条約に反対した歴史上の出来事以来、最大の国民的運動、うねりと言えます。

国民のこの声を無視して「国民民主権・民主主義」という国の看板はありえません。

ボロボロの答弁で採決？

今参議院では、国家審議を無視した自衛隊の内部文書が次々と暴露されています。関連法案成立を前提に、米軍との具体的な活動まで幹部レベルで話が進んでいることを示しています。これに対し、防衛大臣の答弁は二転三転、ボロボロの状態です。

これらの文書が政府の知らないところで行われたとなれば、自衛隊のシビリアンコントロールの危機であるし、政府が関与したとすれば国会審議無視という重大な問題であり、どちらにしても民主主義を大きく逸脱するものです。

さらなるうねりを

もし、報道されるように、政府与党が今月半ばに採決（おそらくは強行採決）に踏み切れば、日本の民主主義にかつてない汚点を残します。そうならないためにも、さらなる国民的うねりをつくりだしていく必要があります。越教組もそのために奮闘する覚悟です。

第42回 越谷市教育研究集会在開催

8月28日、越谷市中央市民会館において教研集会在行われました。それぞれの分科会で活発な実践報告、交流がなされました。

- 学校図書分科会 「学校図書を教育にいかす」
- 国語分科会 「『一時間』単位の詩の授業」
- 算数分科会 「楽しい教材を使った授業」
- 図工分科会 「すぐに役立つ絵画指導」
- 働きやすい職場分科会 「安全衛生法を職場に生かす」

○言葉を磨くことを日頃から積み重ねた結果を発表してもらい、継続することの大切さを学びました。 …国語分科会

○国語の難しさを感じています。国語の楽しさや教えなくてはいけないこと以上に、時間に追われることに悩んでいましたが、少し考え方を変えようと思いました。 …国語分科会

○教具を使い、楽しく子どもたちと授業をしている様子が目に浮かび、とてもよかったです。そういう授業ができるように頑張っていきたいです。 …算数分科会